

おしゃか様の姿のうっりかわり

おしゃか様は苦行を始めました。苦行とは、ごはんを何日も食べなかつたりねなかつたりすることです。

苦行を始め、6年間がたちAのすがたになってしまいました。

おしゃか様は苦行をやめ、ピッパラという木の下で、ざんを組みました。そしてカピラ国に帰ってきました。

しばらくして、おしゃか様はまた旅に出ます。しかし、鍛冶屋のチュンダ^アがもてなしたキノ料理^アがあたって弱っていきま^アす。それでもおしゃか様はチュンダ^アをせめず、「もてなしてくれてありがとう」と言^アてなくな^アってしまいました。

Bは国に帰ったあとのすがたです。

A



B

